

Q

今年度の新型コロナワクチンの接種率は

A

対象者の約10%。レプリコンワクチン接種はない



こばやし まこと
小林 真



映像は
こちらから

Q ワクチン接種、これまでの健康被害救済制度の申請数と認定数は。

A 令和3年から6年まで申請13名、認定7名うち死亡者が2名。

Q 民間団体がワクチンに関する意見交換の場を設けた場合、市から情報提供の立場での参加は可能か。

A 定期接種実施は法令により、自治体独自の判断によるものではない。主催者の別なく難しい。

●中央区画整理地内の道路・公園

Q 広くなった歩道部分など空間を活用するビジョンは。

A ビジョンはないが、要望に応じて、幅広い活用も可能。

Q 中心市街地4つの街区公園を、コミュニティデザインの一貫、また文化と歴史のまちづくりとしてつくるべく考えはあるか。

A 「レンガのまち深谷」の特色を

活かしながら、多くの意見をききながら整備していく。

●登録を要しない運送サービス

Q 介護保険外で移動を伴う付き添いサービスの現状は。

A 介護保険外なのですべて把握していないが、そのような支援をしている団体等があるのは把握している。

Q 民間団体・業者が「地域公共交通確保維持改善事業」を補完する事業計画を立案した時、市の地域公共交通会議で取り上げられるか。

A 同会議の協議対象は交通空白地での有償輸送。全域にデマンドバス運行の本市では協議できない。



大きく広がった中山道の可能性は大きい

Q

小山川ウォーク&サイクルロードの除草管理は

A

予想以上に雑草が繁茂しているため対策を検討する



たか ひろゆき
高田 博之



映像は
こちらから

Q 管理運用基準はどうなっているのか。

A 特に基準はないが、年4回除草を行っている。皆様が安全に利用出来るよう除草回数を増やすなど、前向きに検討していく。

●舗装道路の白線が消えている

Q 消えかかっているのが大分あるが運用マニュアル等あれば聞きたい。

A 左側に引かれている白い実線は「車道外側線」と称し車両が端に寄りすぎないように、安全走行を目的に設置している。マニュアル等はないが、地元や警察などからの要望、職員の巡視に基づき、随時、修繕を実施し交通安全の推進に努めていく。

●旧煉瓦製造施設の整備進捗状況は

Q これまでの保存修理内容と決算

A 18部屋ある輪窯内部の5部屋を飲食ブースに充てる予定で、形態の詳細は事業者選定の中で決定する。



委員長 清水 健一
視察先 長野県松本市

議会活性化の取組み

「各種団体との意見交換会・政策討論会」

松本市議会では、平成21年から、PTA連合会、商店街連合会、保護司会等の各種団体と意見交換会を実施してきた。平成27年は松本工業高校の生徒達との意見交換会で「公共交通の充実」をテーマ

に話し合わせ、翌年には、生徒達から市議会に対して「高校生や高齢者など交通弱者に配慮した公共交通の充実を求める請願」が提出され、全会一致で可決された。政策討論会は各常任委員会でテーマを決め政策を議論し市長に提出している。

その他の視察先
予算決算審査方法
長野県佐久市



11.12~
11.13

議会審議

委員長 岡 仁
視察先 茨城県守谷市

未来の教育もりやビジョン2024

守谷型カリキュラム・マネジメントと名付けた、学習効果の最大化と教職員の働き方改革の両立を図ったプランにより、週3日以上5時間授業を中学3年生まで実現した。

明るいうちに帰宅することや児童生徒の安全確保、また、教員が児

童生徒と向き合う時間が確保された。夏休み期間は短くなったが、保護者からの反対意見はまだ出ていない。

デジタル教育にも力を入れており、タブレットの有効活用や電子黒板の導入もしている。

その他の視察先
こども誰でも通園制度試行事業
千葉県成田市 他



10.1~
10.3

議会審議

視察報告

総務

委員長 湯本 哲昭
視察先 長野県中野市

空き家対策等の地域おこし協力隊

中野市では「管理不全空き家」の段階から、管理基準を徹底させるための調査を外部委託で実施し正確な管理台帳を作成した。しかし人員不足の問題が残ったため、二級建築士の資格を持つ地域おこし協力隊員を外部から採用し、空き家対策と文

化交流の促進を図り、市職員と協力体制で権限を柔軟に活用して市民要望に対応している。相談窓口の充実、情報発信による「管理不全空き家」の見える化でのマッチングなど、将来の移住・定住促進のバックアップ体制を構築して空き家解消対策の成果を上げている。

その他の視察先
令和元年度
東日本台風の
災害対策
長野県長野市 他



10.21~
10.23

産業建設

委員長 田口 英夫
視察先 岐阜県瑞浪市

地場産品ブラッシュアップ事業

瑞浪市は、国内や海外に店舗を展開するビームスとコラボして地場産品のブラッシュアップ（商品の改良）に取り組んでいる。

これまでも15社程が、魅力ある新たな商品の開発に成功し、参加事業者からも「メーカーだけでは思いつかない

ようなアイデア等勉強になった」等好意的な意見が多かった。ビームスからは、商品の開発だけでなく、情報発信手法や商品PRへの助言などもあり、新しい事業への発展、自社製品の強みの発見等につながられ、市内産業の活性化に寄与することができた。

その他の視察先
中山道鵜沼宿再生整備事業
岐阜県各務原市 他



10.2~
10.4